



LOSS TO VALUE

循環型社会を目指す事業創出プロジェクト

Message

LOSS TO VALUE ロスを価値に変えていこう。

私たちの街と暮らしから、
未来の地球を始めるために。

このままじゃ、地球がもたない。

60年以内に食べられるものは今日の半分以下になり

40年以内に命を育む森がほとんどなくなり、

20年以内にゴミの捨て場はなくなってしまう。

諦めることも、先延ばしにすることも簡単だけど、
街と暮らしを作ってきた私たちとなら、できることがある。

ほんの少し角度を変えてみよう。

捨てるはずだった食べ物をおいしく食べよう、
森のために切った木で建てたお店にでかけよう、
手を加えながらずっと愛し続けられる街に住もう。

今、あなたにできるアクションで

LOSSがVALUEに変わっていく。

Project Policy

循環型社会を目指す事業創出のために、私たちがこだわるポイント

地域性：地域社会に貢献するプロジェクトであること

事業性：持続可能なビジネスモデルであること

汎用性：汎用性があり広域展開が可能であること

開放性：領域など垣根を超えたメンバーでチームが構成されていること

Project



プロジェクトリーダー 滝口選手さん

結婚式の思い出をキャンドルに。

プロジェクト進行中！

プリンスホテルの披露宴を彩ったお花を再活用するプロジェクトとして、フラワーキャンドルのトライアルを実施します。

結婚式で新郎新婦こだわりの会場を作りあげるのは、お花。
披露宴を彩ったお花は、役目をおえると廃棄されてしまいますが、そのお花をキャンドルにすることで新郎新婦の"想い"を残し続けます。
また、このプロジェクトを通して、廃棄されてしまうお花の削減を目指します。

プロジェクトリーダー 新谷健司さん

タバコ型の箱から出てくるのは茶葉のおみやげ。

自販機からはじまる地域活性
「Chabacco」

西武鉄道・伊豆箱根鉄道にて好評販売中！

自販機に並ぶのはタバコ、ではなくなんと茶葉。思わずタバコと間違えてしまいそうな洒落の効いたデザインとレトロな自販機の雰囲気相まって手に取る人の笑いを誘います。古くなった自販機を廃棄せず新たな販売拠点として蘇らせるだけでなく、アイコンニックなお土産として親しまれることでお茶にゆかりのある地域を元気にしていきます。



株式会社 クラフト・ティー 代表取締役 新谷 健司

後継者不足によって、耕作放棄地が急速に拡大しているお茶産業。茶畑のすばらしい景観が乱雑な雑木林に変わっていく悲しさもさることながら、長年培われたお茶の製造技術が、それと同時に失われていることに対して危機感を感じています。失われていくものに価値をもたらそうとする西武グループさんの考えに強く共感し、共に課題解決の道を探っていきたいと思います。

事務局からのコメント

世界でも類を見ない自動販売機大国の日本。タバコの自動販売機は年間に約2万台が利用が終わり廃棄されていると言います。このプロジェクトは使われなくなった自動販売機を、「地域の特産品のための新しい売場」として利活用します。おでかけの際、駅や観光地で今まで見たことがない面白い自動販売機に遭遇！思わず笑顔になってもらえるような商品を展開していきたいと思います。

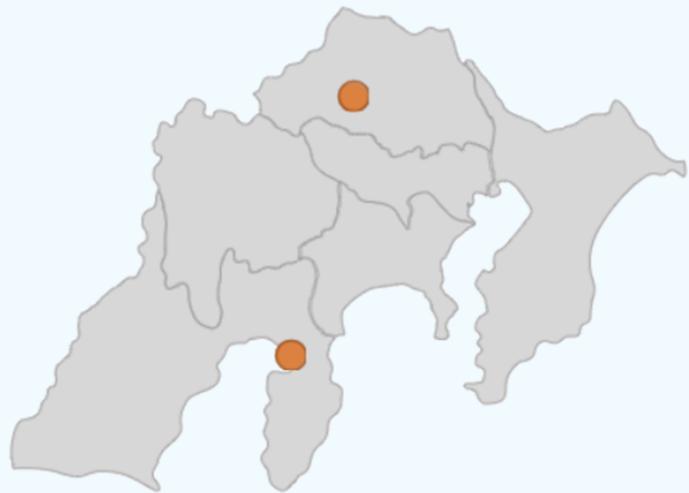
～西武グループ Chabacco販売場所～

西武鉄道

- ・ 所沢駅・本川越駅
- ・ 西武園ゆうえんち駅・西武秩父駅
(2022年4月15日現在)

伊豆箱根鉄道

- ・ 三島駅・伊豆長岡駅・修善寺駅



プロジェクトリーダー 原田奈実さん

おいしいスムージーで農家を支える「Clean Smoothie」

株式会社LIFULLが手がける、野菜や果物を手軽に摂れるスムージーパックにしてお届けするサービスです。味は変わらないのに色々な事情で市場に出せず、廃棄せざるをえなかった野菜や果物を使用しているため、飲むだけで農家を支えることができます。

今後、西武沿線の農家と連携して地産地消の取り組みにチャレンジするなど、解決の幅を広げていきます。



Our Stance

西武グループが地球のために出来ること。
それは未来に踏み出すための実証の場を用意すること。

気候変動による水位上昇、食糧難を始め
人類は未曾有の災害に備えよと耳にします。
そして、それは実際に起こり始めています。

決して新しい世界を不幸にしないように、
生き抜く力を先回りして蓄えていくために、
チャレンジは不可欠だと私たちは考えます。

そのためにまず、私たちが課題を考え、
解決に向けた具体的なアクションをおこします。
ただ、私たちだけで出来ることは限られています。
だからこそLOSS TO VALUEはオープンプラットフォームとして
会社や地域の垣根を超えて最善策を探し出します。

そのために発足したプロジェクトには
施設をはじめとするアセット、
生活応援企業として根付いたノウハウ、
人員も含めた体制を提供します。

今動き出さなければいけないという
危機感をヒントに会社や地域の垣根を超えて
サステナブルの、一歩先へ。

西武グループ